

2018 年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

氏名	中村 桂子
研究テーマ	夏目漱石『夢十夜』に関する研究
研究概要	十の夢を書き綴った小説は、世界でも類がないと言える。新たな視点から、『夢十夜』を捉えていきたい。現在、「漱石とく夢」、『夢十夜』「第三夜」、「第一夜」、「第七夜」、「第五夜」と研究を進めて来ている。

1. 研究活動の概要と研究成果	2018年10月13日、鎌倉市の光明寺に、「お十夜」と漱石について、お尋ねする機会に恵まれた。500年以上、連綿と受け継がれて来た、「お十夜」の荘厳な雰囲気の中に身を置くことも出来た。また、鎌倉市中央図書館では、明治時代の光明寺の「お十夜」の写真が載っている、ご当地発行の雑誌を手取ることも出来た。その後、研究ノート（『夢十夜』「第三夜」論—鎌倉光明寺「お十夜」との関連について—）に結実させた。他に、中島敦『牛人』について、発表レジュメを作成したことを挙げておきたい。
2. 学術論文・学会発表等	研究ノート：「『夢十夜』「第三夜」論—鎌倉光明寺「お十夜」との関連について—」、『佛教大学総合研究所紀要』第26号、佛教大学総合研究所、2019年3月。
3. 今後の課題	夏目漱石に関する先行研究は、枚挙に暇が無い。関連した先行研究の有無について、可能な限り、目を通しておく必要があることを、ごく最近、経験した。今後の課題としたい。